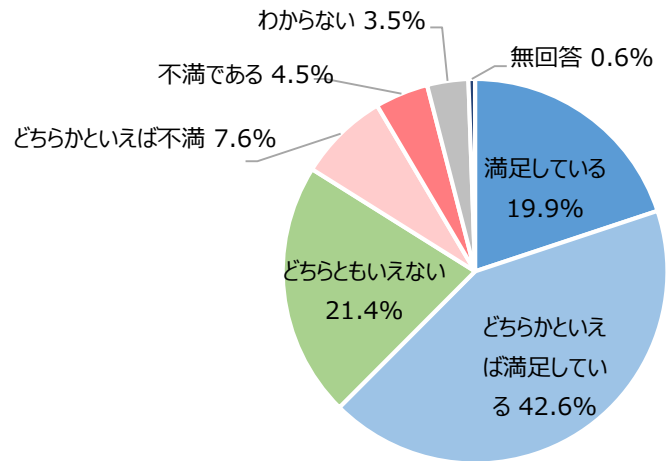


令和7年度県民意識調査 速報値（全体版）

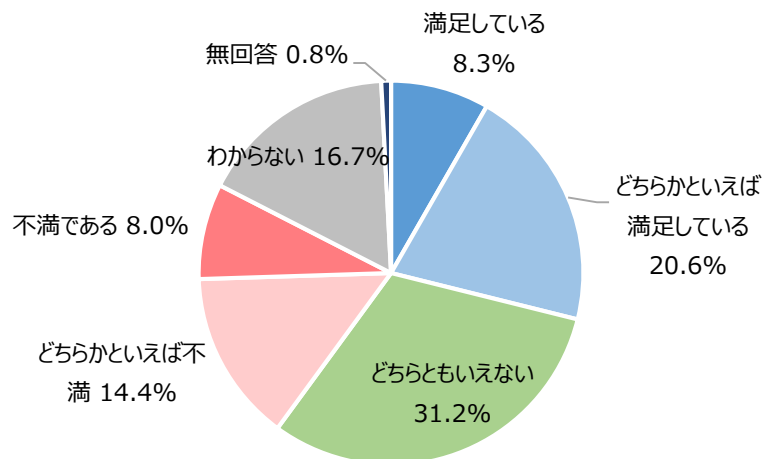
【県民生活の満足度】

●健康

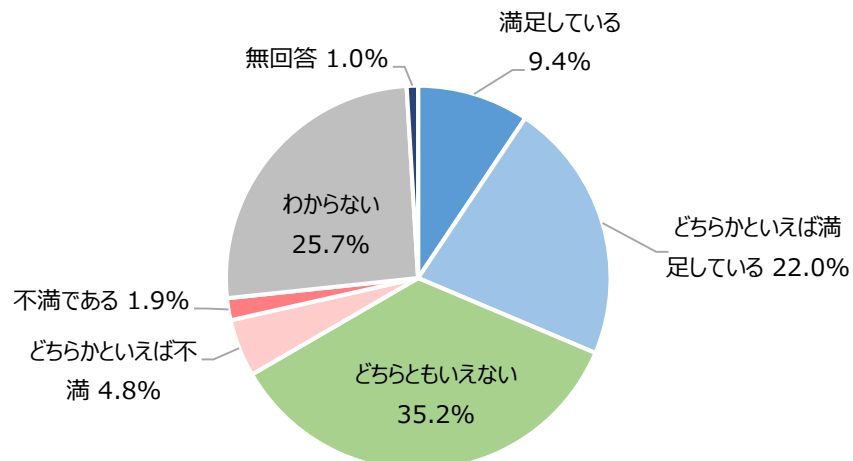
Q1-1：日常医療



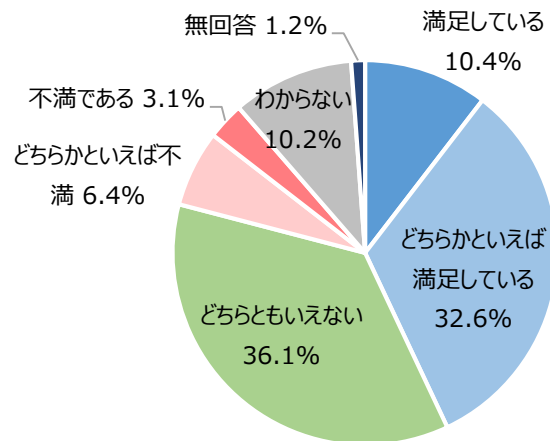
Q1-2：救急医療



Q1-3：検診・相談

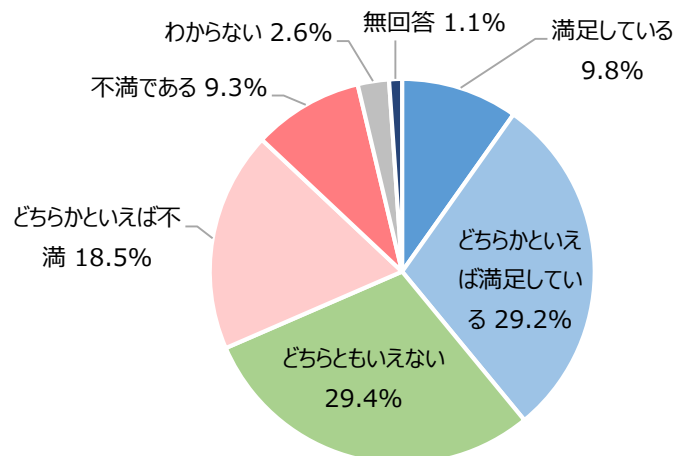


Q1-4：健康全般

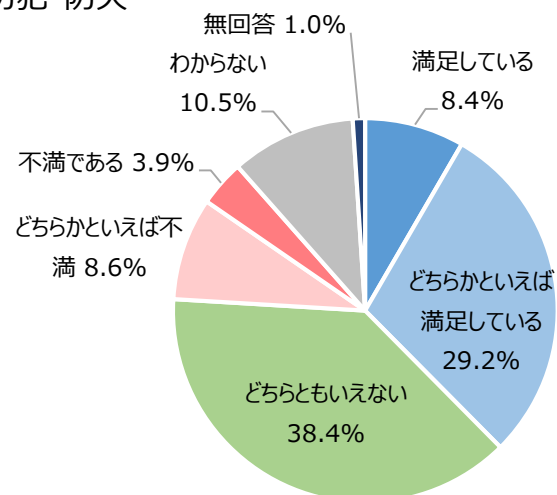


●安全

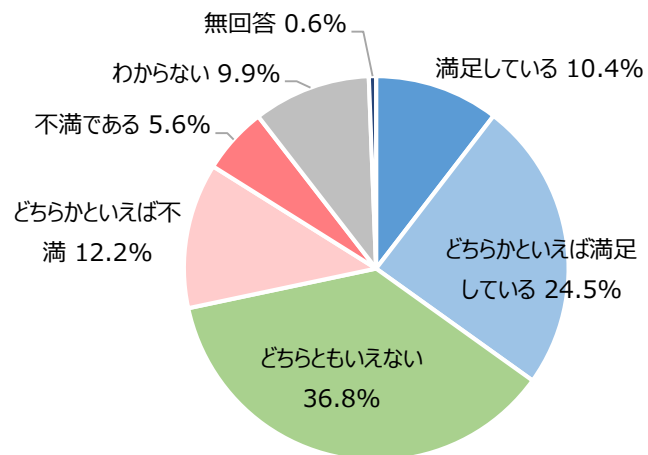
Q1-5：交通安全



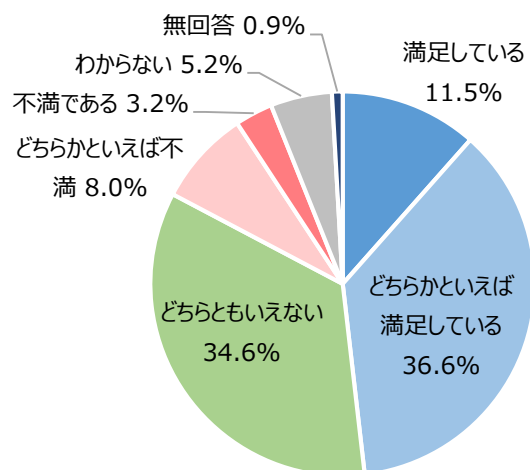
Q1-6：防犯・防火



Q1-7：自然災害

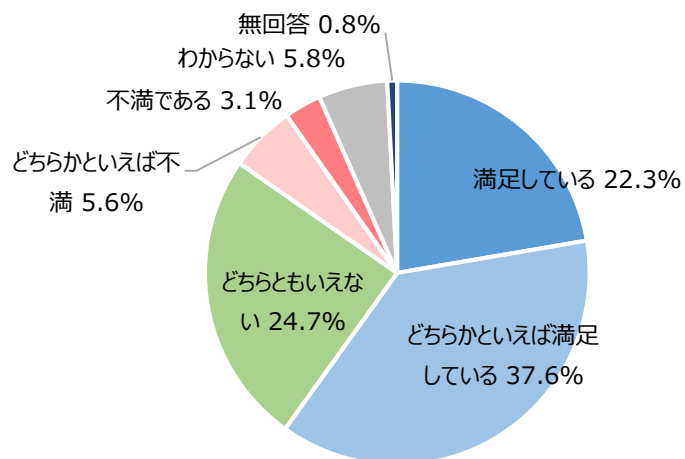


Q1-8：安全全般

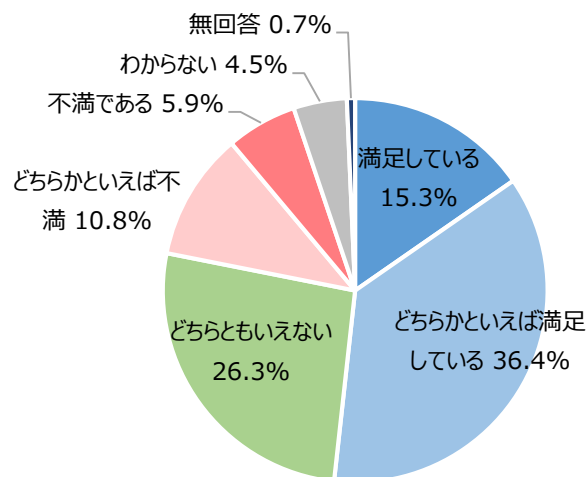


●居住環境

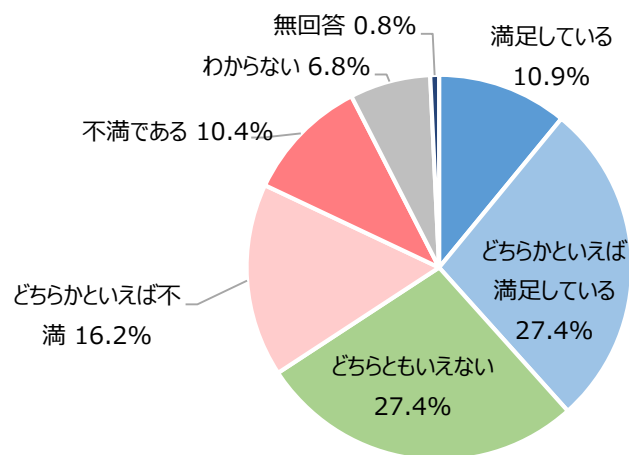
Q1-9：自然環境



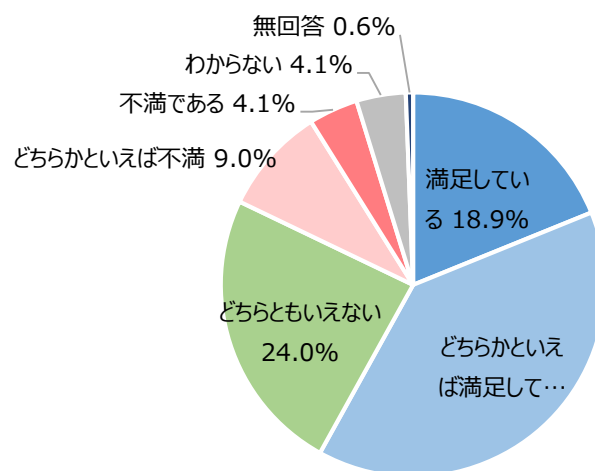
Q1-10 : 大気汚染等



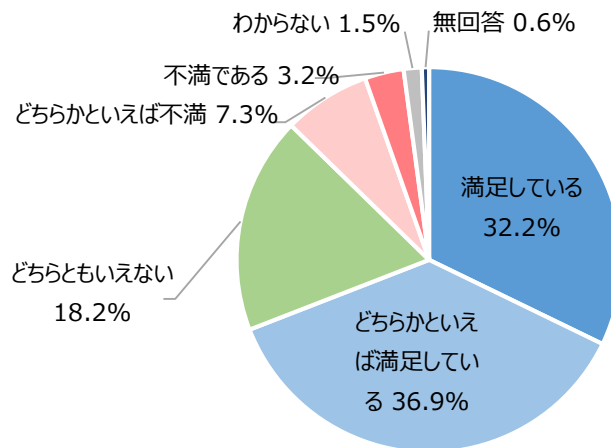
Q1-11 : 公園広場等



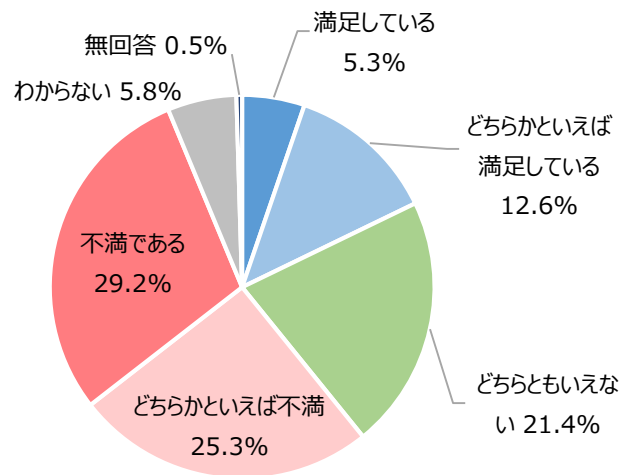
Q1-12 : ごみ・生活排水



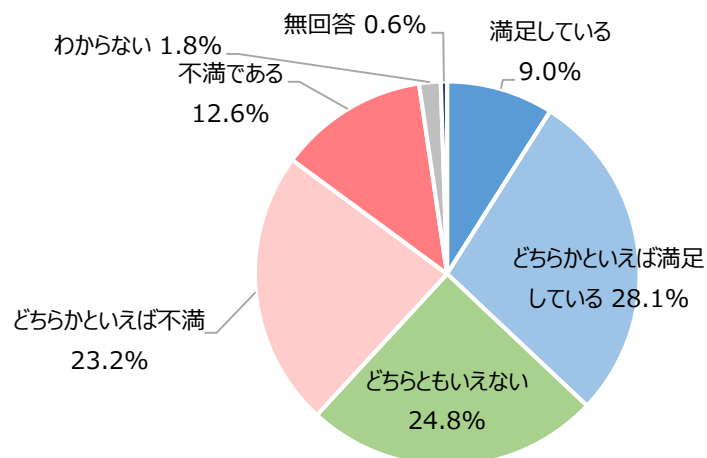
Q1-13 : 住宅



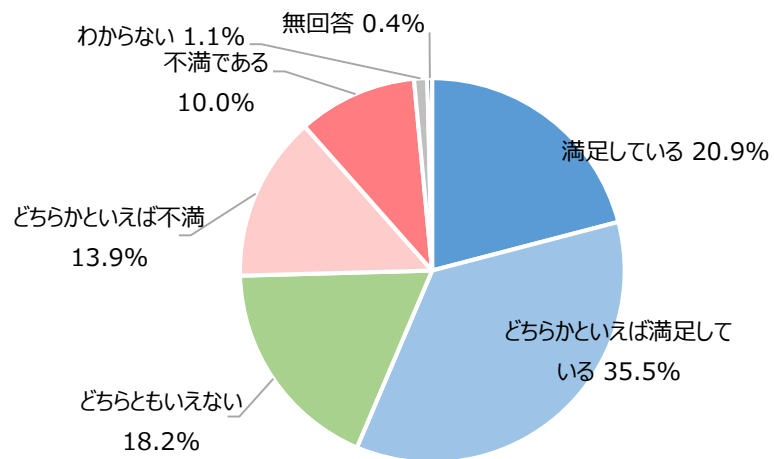
Q1-14 : 公共交通機関



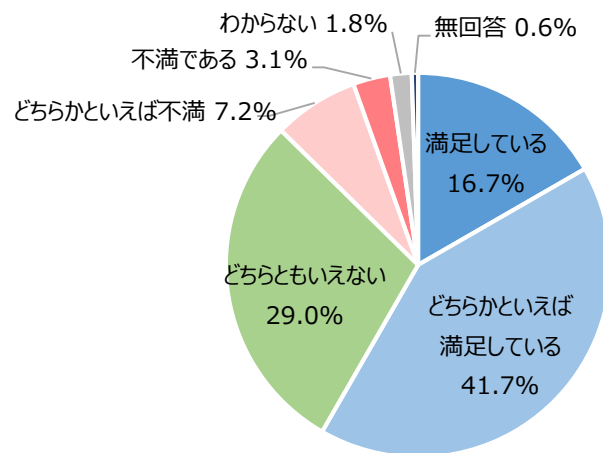
Q1-15 : 道路



Q1-16 : 買い物

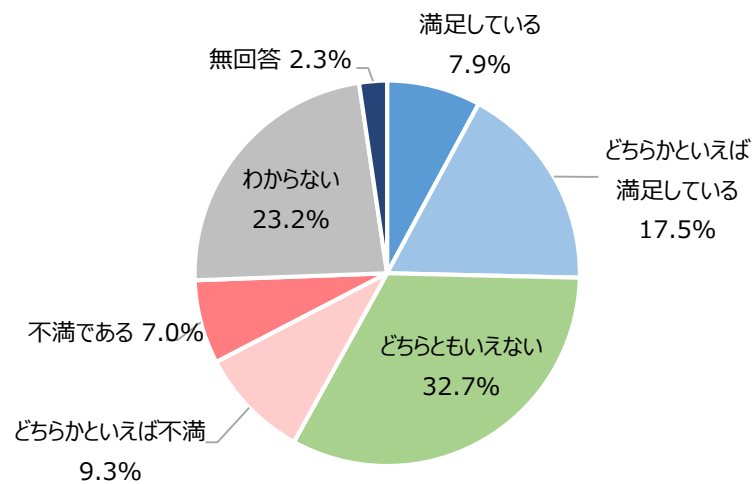


Q1-17 : 居住環境全般

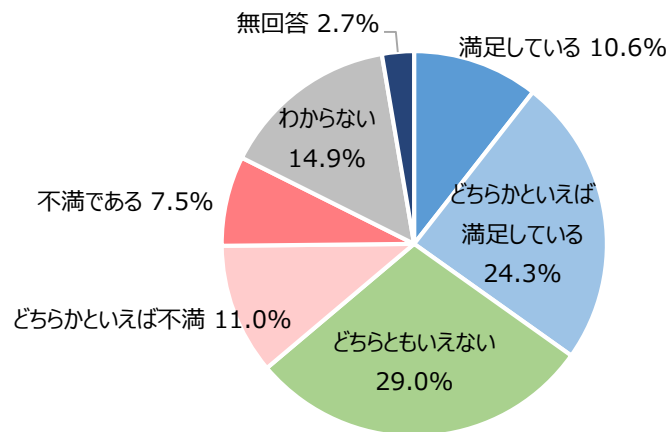


●仕事

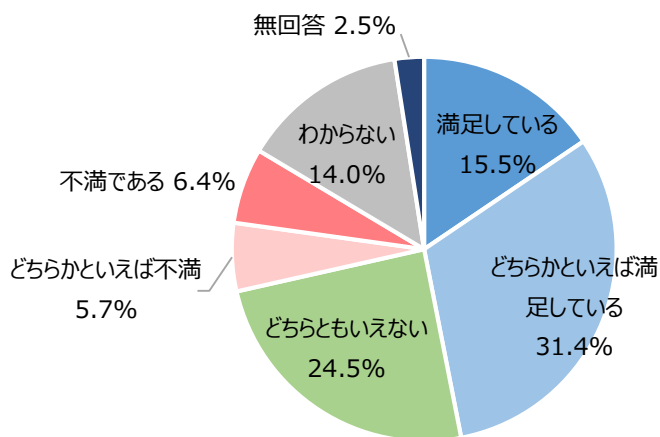
Q1-18 : 就職の機会



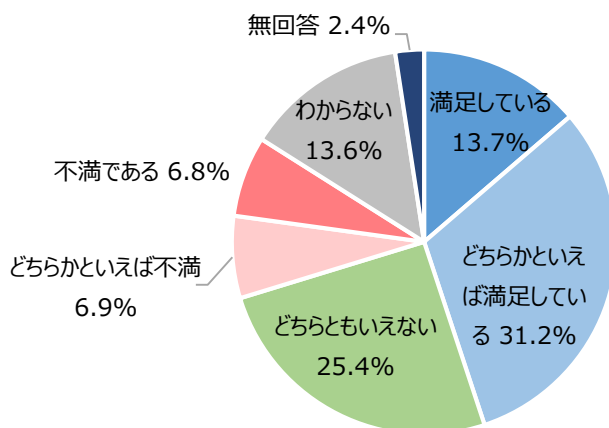
Q1-19 : 労働条件



Q1-20 : 仕事のやりがい

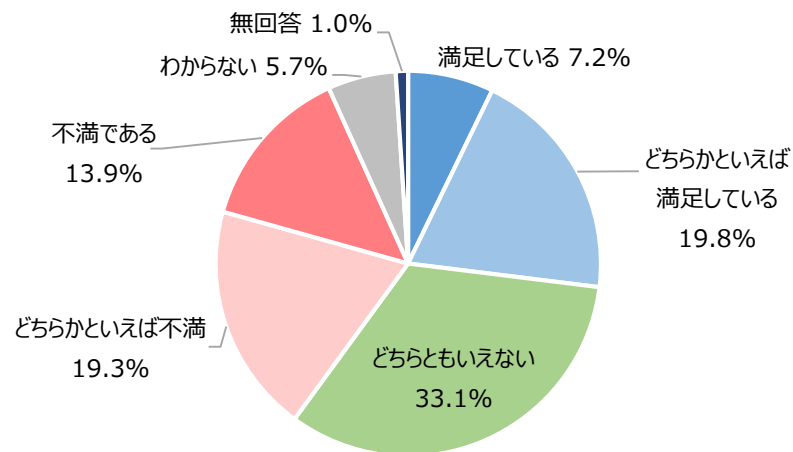


Q1-21 : 労働全般

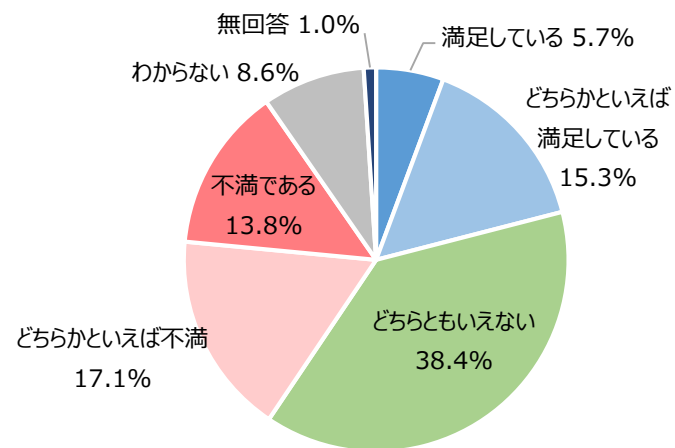


●所得・消費

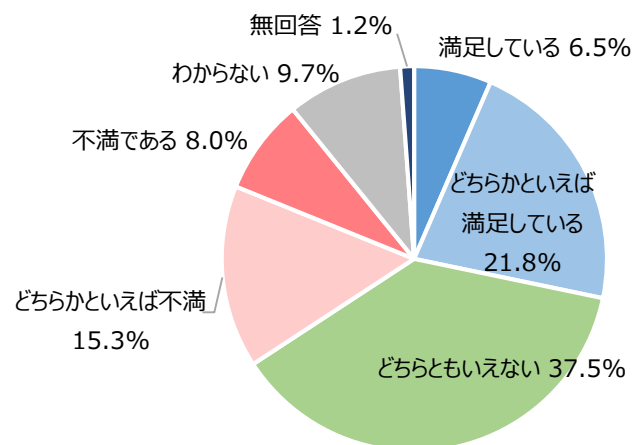
Q1-22 : 所得



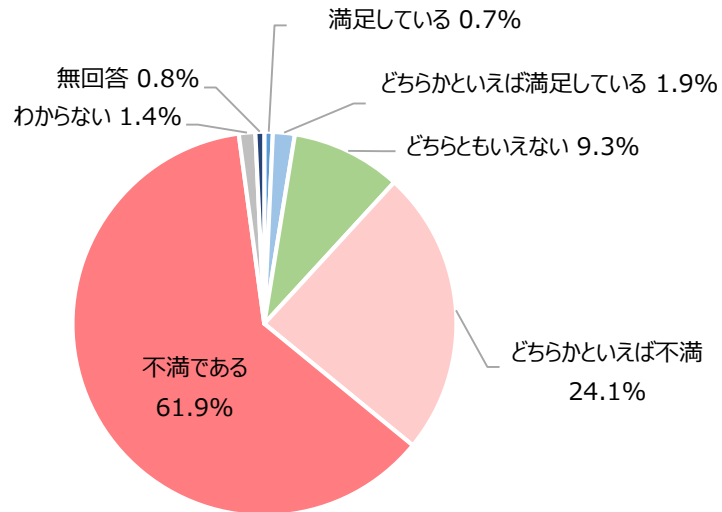
Q1-23 : 資産



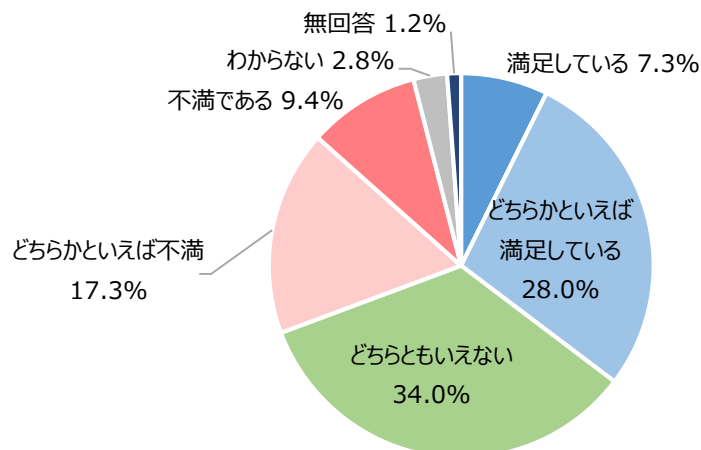
Q1-24 : 消費



Q1-25 : 物価

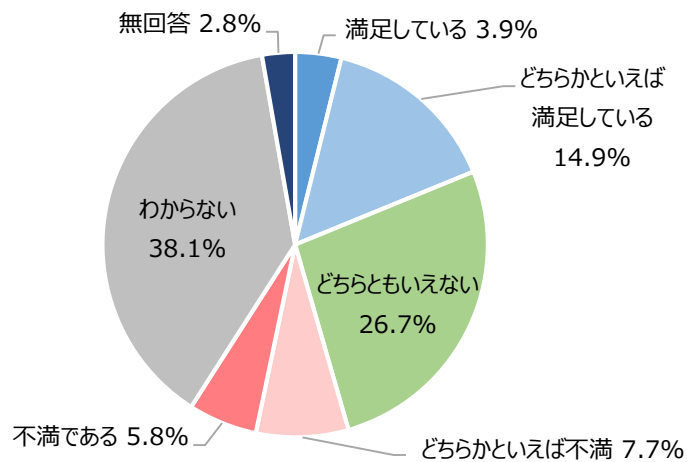


Q1-26 : 所得・消費全般

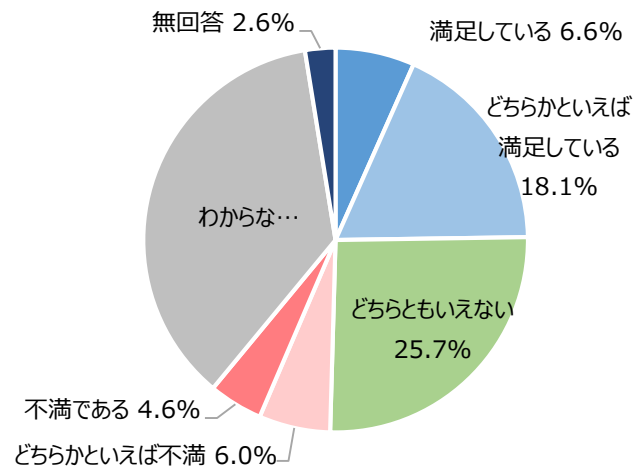


●子育て・教育

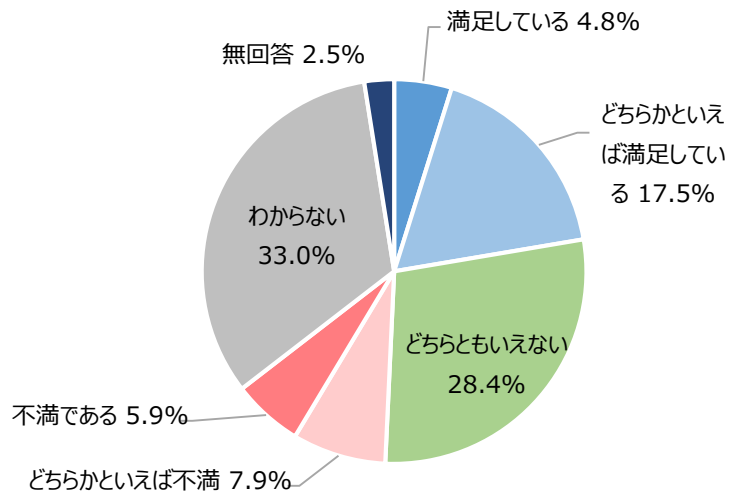
Q1-27 : 出産・育児



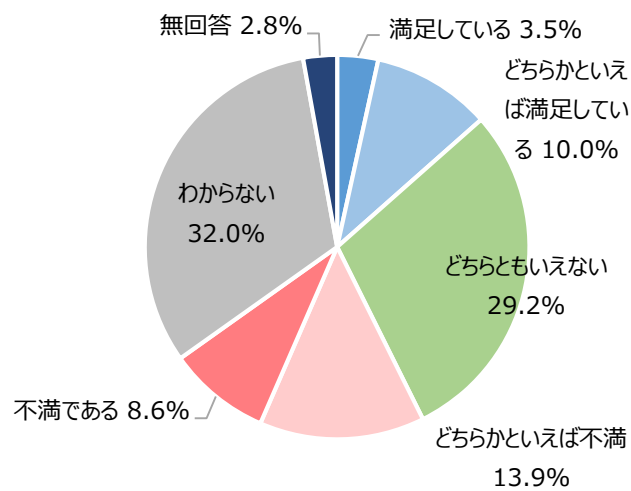
Q1-28 : 幼稚園・保育所



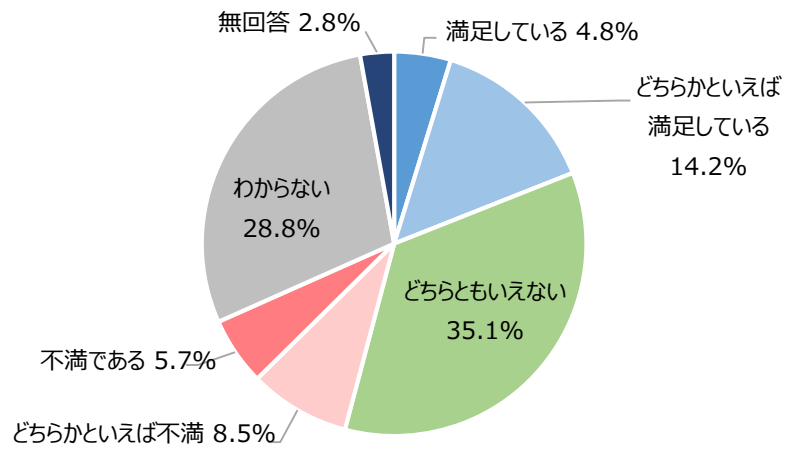
Q1-29 : 小中高の教育



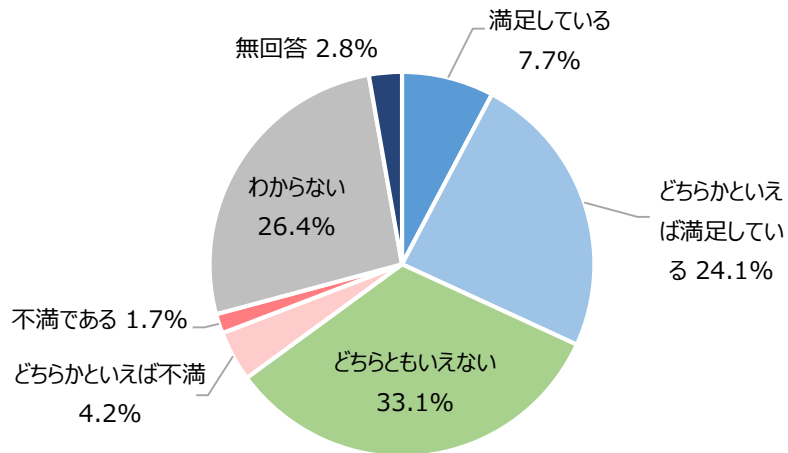
Q1-30 : 高等教育の機会



Q1-31：家庭教育

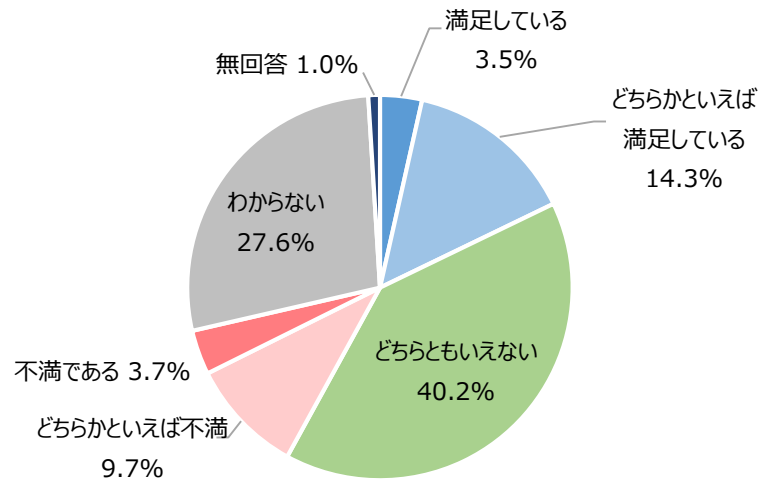


Q1-32:子育て・教育全般

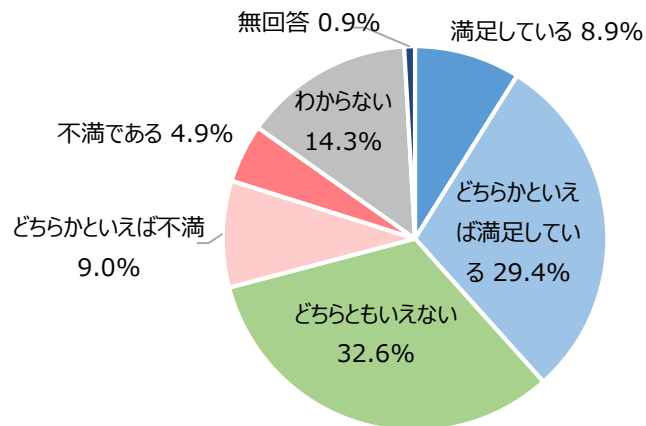


●文化

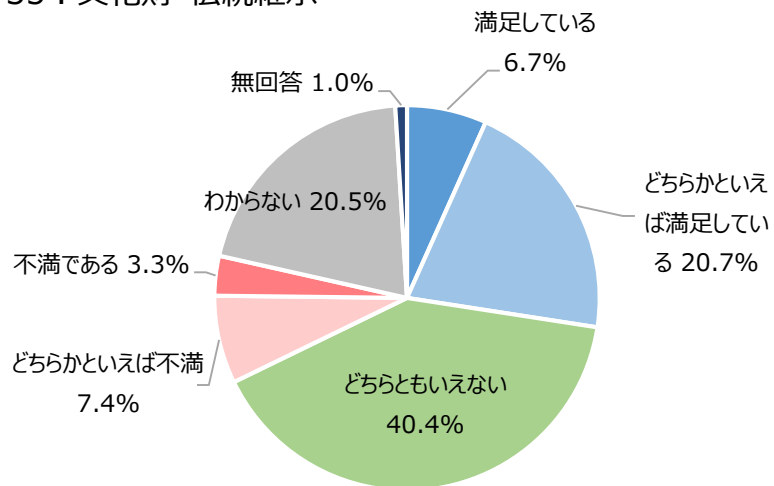
Q1-33：生涯学習



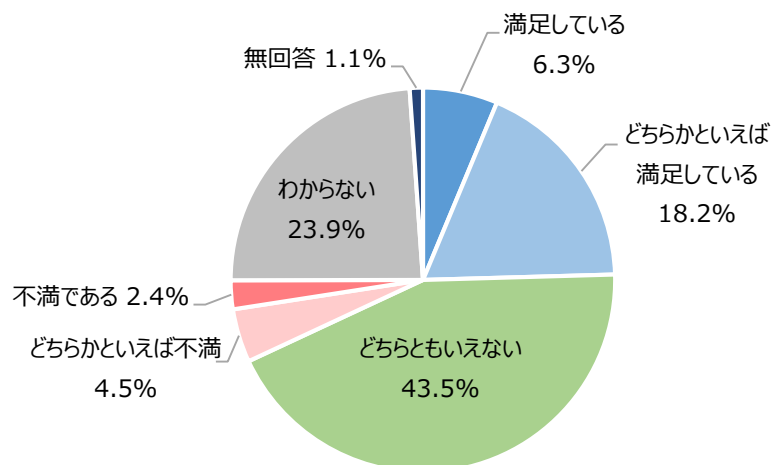
Q1-34 : 文化施設



Q1-35 : 文化財・伝統継承

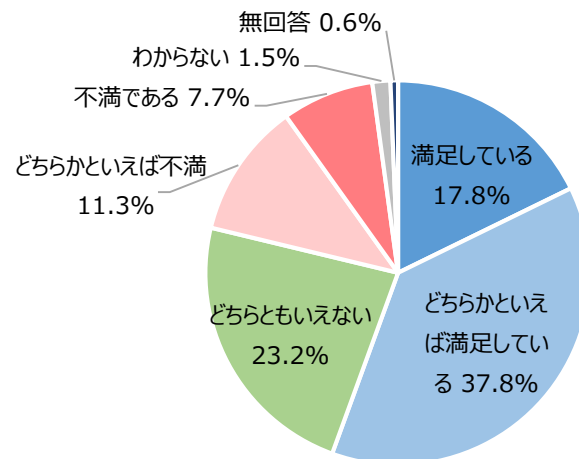


Q1-36 : 文化全般

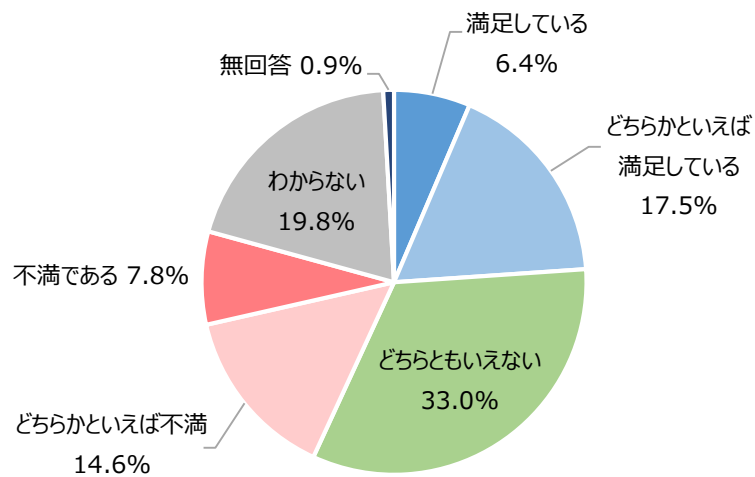


●余暇

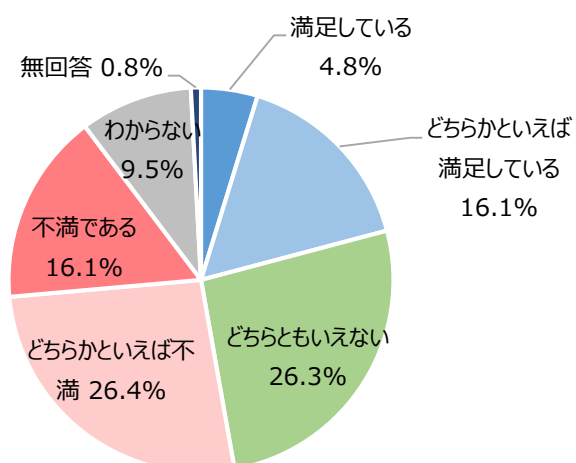
Q1-37：自由時間



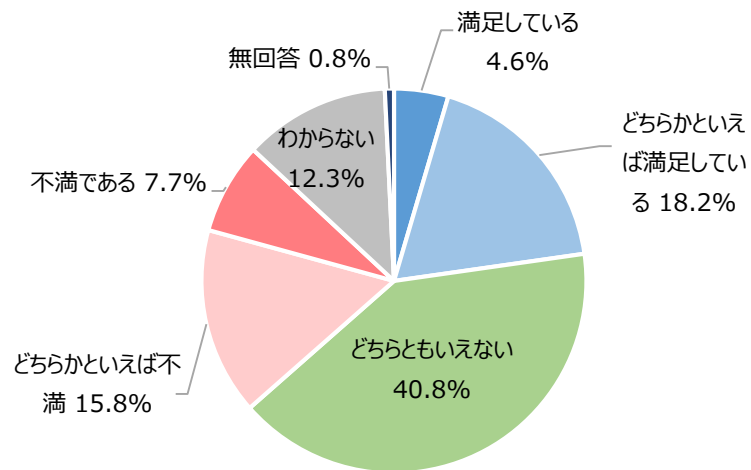
Q1-38：余暇施設



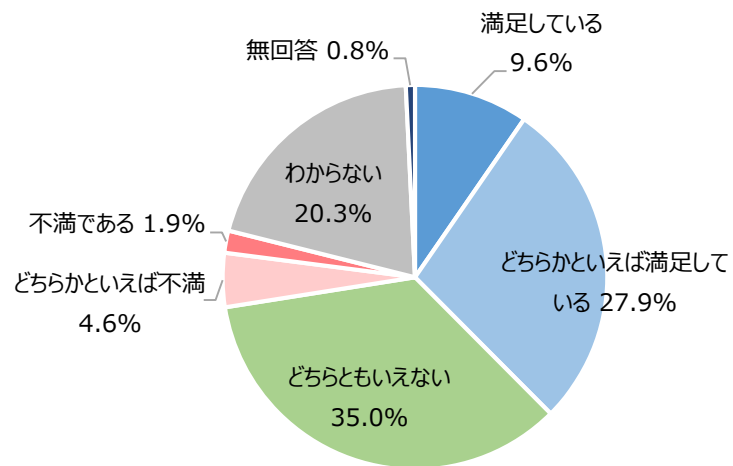
Q1-39：娯楽



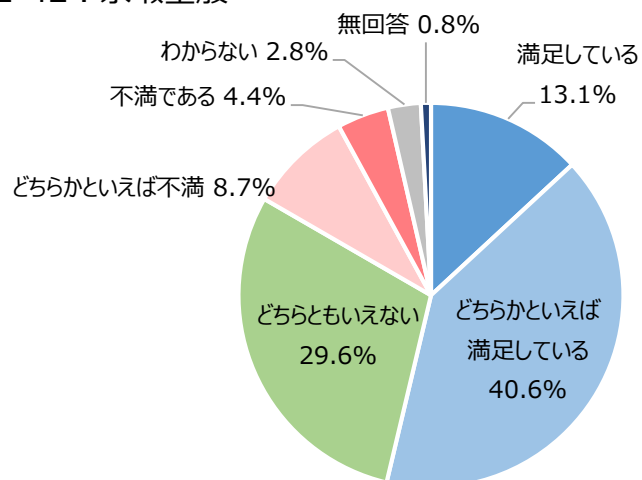
Q1-40：余暇情報



Q1-41：自然と親しむ機会

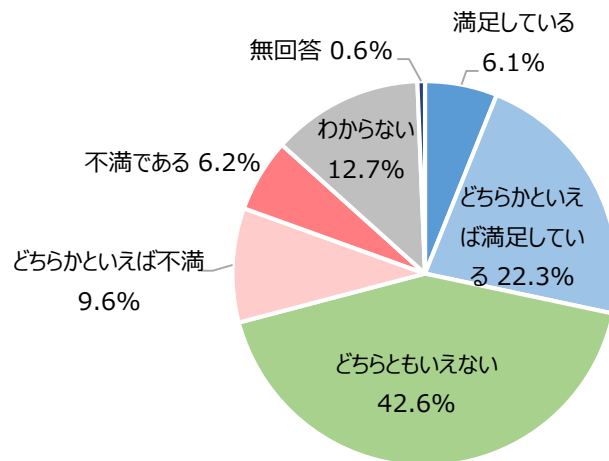


Q1-42：余暇全般

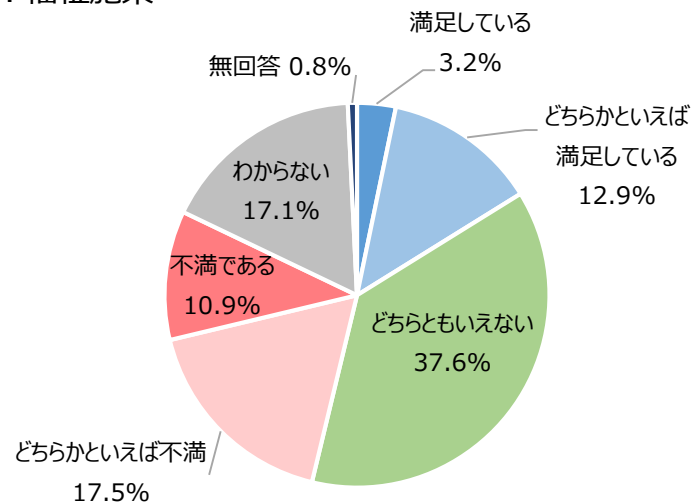


●福祉・連帯

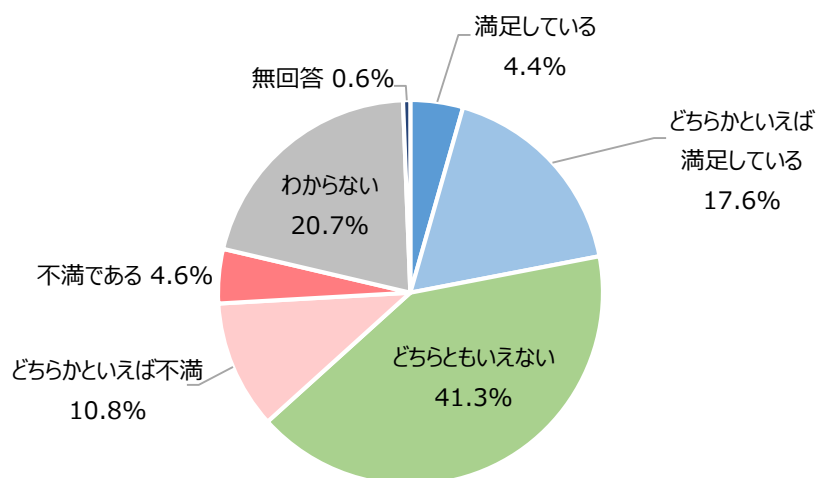
Q1-43：地域とのつながり



Q1-44：福祉施策

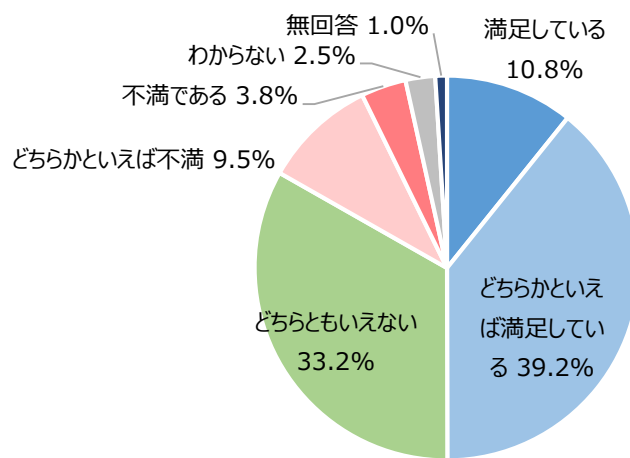


Q1-45：福祉・連帯全般



●生活全般

Q1-46：生活全般

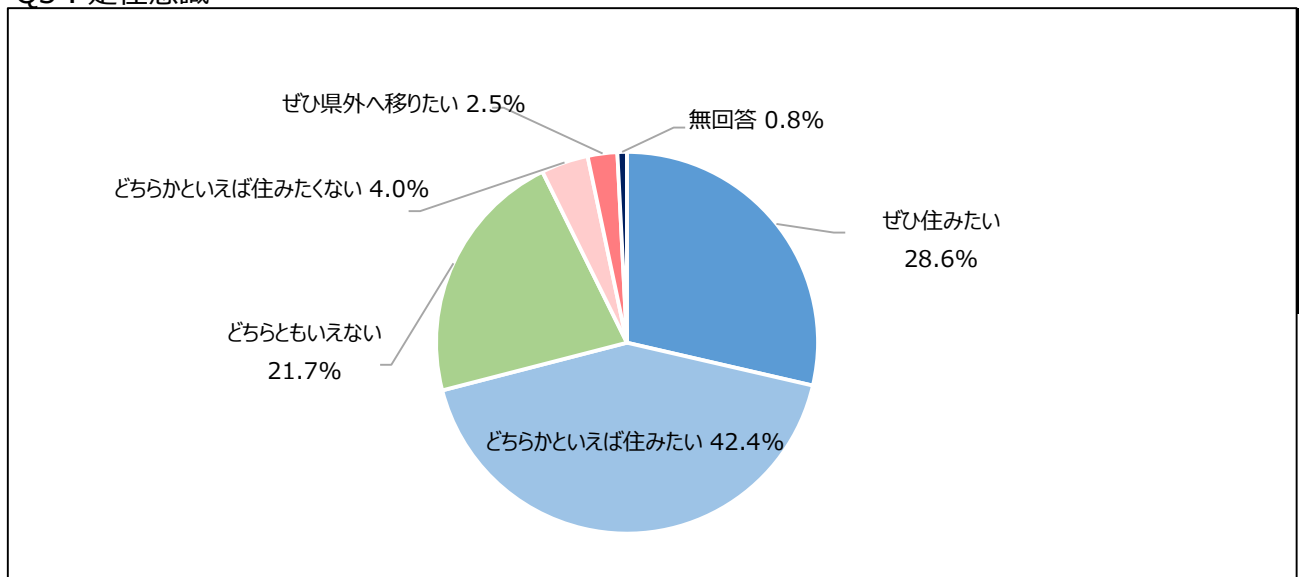


【主要な事項についての県民選好度】

Q2：「豊かさ」のイメージ

順位	選択肢	%
1	心身の健康	61.7
2	収入や資産が多い	45.7
3	時間的なゆとり	39.0
4	快適な居住環境	30.2
5	安全・安心な平穏	27.4
6	恵まれた人間関係	26.1
7	衣食の充実	18.1
8	生活が便利	14.6
9	恵まれた自然	13.1
10	働くよろこび	9.6
11	文化・学習機会の充実	4.1
12	社会奉仕（ボランティア）活動による生きがい	1.0
13	その他	0.9
-	無回答	1.3
	計	100.0

Q3：定住意識



Q4：山梨県のよいところ

順位	選択肢	%
1	自然環境に恵まれている	74.3
2	自然災害が少ない	56.3
3	東京に近くて便利	27.9
4	大気汚染や水質汚濁などが少ない	25.3
5	治安が良い	24.8
6	人情味がある	11.9
7	買い物に便利	9.7
8	すばらしい伝統や文化が残っている	7.7
9	物価が安い	5.3
10	出産・子育てしやすい	4.8
11	将来発展する可能性がある	3.9
12	通勤・通学に便利	3.6
13	福祉や医療が充実している	1.9
14	行政の対応が早い	0.6
15	文化や教育が進んでいる	0.3
16	その他	1.7
-	無回答	1.5
	計	100.0

Q5：山梨県のよくないところ

順位	選択肢	%
1	市街地に活気がない	48.4
2	魅力ある雇用の場が少ない	46.1
3	通勤・通学に不便	36.9
4	買い物に不便	25.2
5	道路・公園・下水道の整備が遅れている	18.5
6	好ましくない風習が残っている	18.0
7	物価が高い	14.0
8	行政の対応が遅い	13.5
9	文化や教育のレベルが低い	13.1
10	福祉や医療が遅れている	12.0
11	出産・子育てしにくい	5.5
12	人情味が薄い	2.3
13	自然災害が多い	1.9
14	治安が悪い	1.6
15	その他	4.1
-	無回答	1.4
	計	100.0

Q6：不安や悩み

順位	選択肢	%
1	収入・貯蓄	59.2
2	健康・体力	56.1
3	介護	29.4
4	仕事	23.2
5	自然災害	23.2
6	子育て・子どもの教育	13.7
7	地域での人間関係	9.3
8	治安	7.9
9	住宅	7.3
10	結婚	6.1
11	家族との人間関係	5.5
12	就職	4.8
13	その他	1.7
-	無回答	4.4
	計	100

Q7：行政の施策についての要望

順位	選択肢	%
1	バス・鉄道などの公共交通機関の充実と利便性の向上	47.3
2	雇用の創出・安定化、就職・就業の支援	34.7
3	高齢者、障害者をはじめ誰もが安心して生活できる地域福祉の推進	33.9
4	医療体制の充実や健康づくり	33.2
5	県内経済を支える地域産業の振興	33.1
6	人口減少に歯止めをかける施策	29.5
7	家族や身近な人のケア（介護、看病等）を行う人に対する支援	29.0
8	子育てしやすい環境づくりや、育児への支援	23.8
9	地震、風水害、土砂災害などから生命や財産を守る防災・災害対策	21.3
10	特色や活気あるまちなみづくりや美しい景観の形成、道路の整備	20.0
11	防犯や交通安全、消費者被害の防止など、安全な社会づくり	19.6
12	農業や農村の振興	18.0
13	山梨の魅力をいかした観光の振興	16.1
14	学校教育の充実や、健全な青少年の育成	14.5
15	生活困窮者に対する支援	11.3
16	健全な森づくりと、それを支える林業の振興	7.7
17	芸術文化・スポーツの振興や、生涯学習機会の支援	7.6
18	環境保全、脱炭素社会の実現	6.8
19	その他	2.6
-	無回答	0.9
	計	100.0

Q8：地域産業の振興

順位	選択肢	%
1	将来性のある優良企業の誘致や県内企業の規模拡大	47.5
2	地域産業を担う技術や知識を身につけた人材の確保・育成（リスキリングへの取り組みを含む）	28.2
3	県民生活や地域県民を支える物流基盤の強化	26.5
4	ジュエリー、繊維、ワイン、日本酒などの地場産業のブランド化や販売力の強化	23.6
5	中小企業の新技術・新製品の開発	23.0
6	技術力向上を図るための産学官（産業界・大学など・行政）の連携	17.8
7	事業活動に必要な資金が十分に調達できるしくみの充実	17.3
8	水素・燃料電池や医療機器といった成長産業分野への県内企業の参入	16.4
9	伝統工芸品の後継者育成など、伝統産業の振興	14.0
10	起業や創業	13.5
11	中小企業の海外市場を含めた販路開拓や受注獲得	13.1
12	将来の産業発展につながる科学技術の振興	11.7
13	その他	2.6
-	無回答	3.5
	計	100.0

Q9：農業の振興

順位	選択肢	%
1	新たに農業に従事する人や企業の農業参入など、多様な担い手の確保・育成	50.1
2	耕作放棄地の再生・活用	39.0
3	県産農産物のブランド力の強化と消費者へのP Rなど販売促進活動	30.9
4	山梨独自の新たな品種の開発と、その普及・宣伝	22.8
5	経営規模の拡大や新たな技術の導入など、農業経営の効率化	19.5
6	農道や農地の整備など、農業生産基盤の整備の推進	19.3
7	農産物の新たな販路の開拓や需要の拡大など、販売戦略の強化	15.1
8	農作物への鳥獣害の防止対策の強化	14.6
9	I C T(注1)の活用などによるスマート農業の研究・普及	13.7
10	食品産業などとの連携による新たな農産加工品の開発、名産品づくり	10.4
11	県産農産物の県内消費（地産地消）の拡大	10.4
12	4パーミル・イニシアチブ(注2)、カーボンフリー農業(注3)など環境に配慮した農業	8.2
13	果実などの海外への輸出拡大	7.7
14	その他	2.4
-	無回答	2.7
	計	100.0

Q10：林業の振興

順位	選択肢	%
1	林業の担い手となる人材の確保・育成	63.5
2	間伐や、主伐後の再造林等の森林整備	49.2
3	木の良さや利用の意義などの普及啓発	18.6
4	県産材を低コストで供給するサプライチェーンの構築	16.6
5	I C Tや高性能林業機械を活用した森林施業の生産性向上	16.3
6	森林整備や木材搬出のための林内路網整備	15.6
7	公共施設の木造・木質化の推進	14.6
8	木質バイオマスの利活用の推進	11.5
9	住宅や民間建築物の木造・木質化の推進	11.2
10	木堀などの外構部材、木のおもちゃなど幅広い分野での木材利用	11.2
11	環境や地域社会に配慮した県産 F S C 認証材(注 4)のブランド化	10.9
12	県産材の県外及び海外への販路開拓	8.1
13	その他	1.9
-	無回答	3.4
	計	100.0

Q11：環境の保全_心がけていること

順位	選択肢	%
1	買い物袋（マイバッグ）や自分専用の箸（マイ箸）の持参などによるごみの減量化	64.6
2	ごみの分別の徹底	62.2
3	節電や節水	57.9
4	食べ残しの発生抑制などによる食品ロスの発生防止	44.4
5	省エネ家電など、エネルギー消費の少ない商品の購入	31.4
6	アイドリングストップや、急発進・急加速などを避けるエコドライブ	29.8
7	草木を植えるなどの緑化	22.4
8	太陽光発電の導入など、クリーンエネルギーの活用	20.1
9	リサイクル（再生）品の購入	18.5
10	緑のカーテンによる冷房利用の抑制	6.6
11	マイカー利用を控え、バス、電車、自転車の利用	4.3
12	環境美化などのボランティア活動や、環境に関する学習機会の活用	3.9
13	特に何もしていない	2.6
14	その他	0.6
-	無回答	1.5
	計	100.0

Q12：環境の保全 必要だと思うこと

順位	選択肢	%
1	地球温暖化防止などに貢献する森林の整備保全や、水資源の保護	38.4
2	省エネやリサイクルの推進など、環境への負荷が少ない生活スタイルの普及	36.7
3	太陽光、水力などのクリーンエネルギーの普及促進	33.4
4	産業廃棄物や家庭ごみの処理対策	29.1
5	廃棄物の不法投棄対策の強化	28.5
6	大気・土壌汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策	24.3
7	燃料電池車の普及促進など、水素エネルギーの利活用の推進	15.8
8	下水道整備や浄化槽の設置推進による生活排水対策	14.6
9	企業が行う事業活動の省エネ化や低公害化	14.5
10	マイカー利用からバス、電車、自転車利用への転換促進や、公共交通機関の充実	13.5
11	環境保護意識の啓発や、環境教育の推進	12.3
12	その他	1.9
-	無回答	2.1
	計	100.0

Q13：観光の振興

順位	選択肢	%
1	日本有数の山々・景観や温泉、文化財など、地域の資源をいかした観光地づくり	36.9
2	インターネットやSNSなどによる、山梨県の魅力や観光情報の発信	29.0
3	観光客が利用する施設（遊歩道、トイレなど）の整備・改修	28.4
4	ワイン、ジュエリーなど県産品のブランド力をいかした観光客誘致	27.6
5	映画やテレビ番組などの撮影の誘致	24.4
6	観光地を結ぶバスネットワークなど、観光客が利用しやすい公共交通の充実	22.6
7	農業体験や自然環境の学習など、参加・体験型旅行商品の開発	22.5
8	J R線や富士急行線、中部横断自動車道を活用した広域的観光地づくり	22.3
9	森林セラピーやグランピングなどアウトドア・アクティビティの場としての森林空間の積極的な活用	13.2
10	山岳遭難防止のための啓発など、安全登山に向けた山岳遭難防止対策の推進	11.2
11	おもてなしの推進に向けた県民挙げての取り組み	8.6
12	ワーケーションの受け入れ環境の整備・支援	6.1
13	公共LANの整備など観光客誘致のための取り組み	4.4
14	ICTをいかした付加価値の高いサービスの創出	2.1
15	その他	2.7
-	無回答	2.8
	計	100.0

Q14：交通政策

順位	選択肢	%
1	中部横断自動車道（山梨-長野間）の早期整備や中央自動車道の渋滞対策など、高速道路網の充実	39.3
2	生活に密着した市町村道の整備	31.9
3	新山梨環状道路など、県内交通の骨格となる道路網の整備	29.4
4	歩道の拡幅や段差の解消、自転車道、通学路の整備などによる交通の安全性確保	28.4
5	日常生活を支えるバス路線の確保・維持	27.7
6	J R中央線の利便性向上による東京圏などへのアクセス向上	25.9
7	リニア中央新幹線の開業効果を全県に波及させるための交通ネットワークの整備	24.2
8	地域間を結ぶ国道や県道の整備	21.9
9	交差点の改良やバスレーンの設置などによる渋滞の解消	10.0
10	パークアンドライドなど、車に依存しすぎない公共交通機関を利用した交通体系	9.8
11	新たな公共交通機関の整備による交通網の充実	8.5
12	自動運転やライドシェア（自家用車の配車）など新たな交通サービスの導入	5.4
13	超小型モビリティ（電動カート、電動キックボード、電動自転車など）を活用した近距離の日常的な交通手段の充実	3.9
14	その他	1.9
-	無回答	1.9
	計	100.0

Q15：地域福祉

順位	選択肢	%
1	高齢者や障害者が快適に暮らせるまちづくり	45.0
2	質の高い福祉サービスが提供できるような福祉人材の養成・確保	35.5
3	高齢者や障害者の多様なニーズに応じた福祉施設の整備	33.9
4	介護保険制度の充実（介護サービスの質の向上など）	33.2
5	高齢者の介護を地域全体で支えるための、生活支援サービス提供体制の充実	26.1
6	認知症に対する理解促進や予防プログラムの普及など、認知症患者への総合的な支援体制づくり	18.5
7	高齢者や障害者などの社会参加活動	16.4
8	障害や障害者に関する正しい理解の促進や、福祉教育の推進	15.3
9	障害者の就労への支援（農福連携の推進を含む）	14.6
10	障害者の日常生活を支援する障害福祉サービスの充実	14.0
11	自殺予防への意識を高めることや、地域が自殺防止に取り組む体制の整備・充実	5.5
12	薬物やアルコールなどの依存症に係る医療提供体制の整備や回復促進等の支援	4.1
13	その他	2.1
-	無回答	1.9
	計	100

Q16：保健医療

順位	選択肢	%
1	休日や夜間など緊急時の救急医療体制の整備	61.2
2	住み慣れた居宅などで必要な医療サービスが受けられる在宅医療の充実	29.5
3	地震などの災害時に、すみやかに必要な医療が提供される体制の充実	28.7
4	医療の提供体制が特に弱い地域における、医療機能の充実	24.9
5	産科医や小児科医など医師の確保・定着	20.7
6	がんなど主要な病気に対する診療体制の整備	20.4
7	看護師や助産師など看護職員の確保・定着	19.8
8	健康づくりに関する正しい知識の普及啓発	15.4
9	疾病や生活習慣病など予防可能な病気に関する正しい知識の普及啓発及び、予防などの取り組み	14.9
10	遠隔医療やＩＣＴを活用したオンライン診療の普及	13.5
11	不妊治療や出産前後の健診・医療が身近で安心して受けられる体制の充実	8.0
12	難病医療提供体制の充実	4.8
13	将来の妊娠や出産のための健康管理（プレコンセプションケア）に対する支援	3.1
14	その他	1.5
-	無回答	1.4
	計	100

Q17：子育て支援

順位	選択肢	%
1	働く親が放課後などに安心して子どもを預けられる場の確保（放課後児童クラブなど）	40.8
2	ワーク・ライフ・バランスの推進など子育てしやすい職場環境づくり	36.3
3	延長保育や病児保育、休日・夜間保育など、保育サービスの充実	27.6
4	休日・夜間の急な子どもの病気やけがに対処できる救急医療や電話相談などの体制の充実	27.0
5	子育てについての相談やカウンセリングが受けやすい体制の充実	24.5
6	子育てに伴う経済的負担の軽減	23.9
7	子どもを犯罪や交通事故から守る、安全確保の取り組み	18.1
8	子育てに役立つ情報提供の充実	18.0
9	心の問題を抱えた子どもやその家族への相談支援、心の健康を支える体制の充実	17.8
10	児童虐待の防止と早期対応	12.4
11	育児や家事を男女が協力して行うような意識の啓発	12.0
12	子育て中の親に対する職業訓練や就職支援の充実	9.2
13	その他	1.7
-	無回答	2.8
	計	100.0

Q18：防災・災害対策

順位	選択肢	%
1	災害など緊急時に備えた食料、飲料水、医薬品などの備蓄や確保	43.4
2	災害や避難に関する情報を、県民にすみやかに提供するシステムの整備	34.8
3	災害時における電力供給体制の強化	29.5
4	学校、病院などの公共施設や住宅の耐震化	27.2
5	地域防災リーダーの養成や、防災に関する学習機会の提供など、地域防災力の強化	21.9
6	消防防災ヘリコプターの運航体制の確保や近隣自治体との応援体制の連携強化など、広域的な防災体制の充実	21.1
7	洪水や山地崩壊、土砂災害などによる被害を防止する施設の整備	17.8
8	消防団や水防団活動の活性化や自主防災組織の育成など、地域での組織的な災害対応力の強化	17.7
9	富士山火山噴火時の避難を支援する減災対策	14.8
10	避難・救助活動や物資援助に役立つ、災害に強い道づくりや橋の耐震化	14.2
11	消防本部の広域化による防災組織・体制の強化、災害時対応力の強化	13.4
12	地震災害時に避難地や物資の集積地として機能する、都市公園の防災拠点化	11.8
13	その他	1.6
-	無回答	2.0
	計	100.0

Q19：安全な社会づくり

順位	選択肢	%
1	防犯カメラ、防犯灯の設置などによる子ども・女性の安全確保や犯罪の未然防止	65.7
2	電話詐欺など県民が被害に遭う危険性の高い犯罪の防止	34.7
3	高齢者、障害者をはじめ誰もが利用しやすい施設や通路、駐車場などの整備	30.4
4	交通事故防止や飲酒運転根絶のための、運転者や歩行者への意識啓発など、交通安全対策の充実	29.2
5	インターネットを利用した犯罪から県民を守るため、官民が連携したサイバー犯罪対策	24.8
6	自主防犯団体の支援や住民の防犯意識の啓発など、地域ぐるみの防犯活動	22.8
7	暴力追放運動の支援や県民・事業者への暴力団排除意識の啓発など、暴力団排除活動の推進	13.3
8	インターネット上でのモラルやマナーの向上（SNSへの書き込みなど）に関する普及啓発	12.9
9	犯罪被害者への支援対策の充実	11.4
10	食品の安全性を確保する監視・検査体制の充実	10.7
11	商品・サービスに関する取引の適正化や相談体制の充実	6.6
12	その他	1.2
-	無回答	1.7
	計	100.0

Q20：学校教育

順位	選択肢	%
1	基礎的な知識・技能や学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力などを身につける教育の充実	47.7
2	子どもの体力向上への取り組み	26.8
3	教職員の資質・指導力の向上	26.0
4	奉仕・自然・農業体験など、自ら考え、判断し、他者と協働して行動できる資質や能力を育む体験活動の充実	24.0
5	豊かな自然環境を生かした知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実	21.0
6	国際的に活躍できる人材を育てる語学教育などの充実	17.6
7	社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育むキャリア教育・職業教育の充実	16.2
8	子どもの心の問題に対応するための専門員の配置など、支援体制の強化	15.0
9	食育（食に関する正しい知識や行動を身につけるための教育）の推進	10.2
10	郷土のことを知り、大切に思う心を育むための、郷土教育（歴史、環境、自然、景観）の充実	10.1
11	障害のある子どもなど、特別なニーズに対応する教育の充実	10.0
12	きめ細かな指導が可能となる少人数教育の充実	10.0
13	学校への冷房設備導入や校庭の芝生化など、快適な教育環境の整備	9.7
14	大学など、高等教育機関の充実	9.0
15	地域が学校教育を応援する体制づくりなど、学校・家庭・地域の連携強化	8.2
16	魅力と活力ある高校づくり（中高一貫教育、探究活動の充実など）	5.0
17	創造性を育む学びを実現するため、I C T環境の充実と高速通信ネットワークの整備	3.2
18	その他	2.2
-	無回答	3.1
	計	100.0

Q21：文化・スポーツ・生涯学習

順位	選択肢	%
1	公立施設（文化ホール、図書館、美術館、博物館など）における芸術文化に触れる機会の充実	59.6
2	身近な地域でスポーツやレクリエーションをする機会の提供	40.9
3	芸術文化活動やスポーツ・レクリエーション活動、生涯学習に関連する情報提供	29.6
4	県内スポーツ選手の競技力の向上や、素質あるジュニア選手（児童生徒など）の育成強化	26.5
5	スポーツ指導者の養成と、スポーツ少年団の育成・強化	23.7
6	郷土の歴史や文化を自ら学べる機会（講演会、講座、学級、教室など）の充実	22.5
7	文化財の保存・活用	16.6
8	社会教育を推進する団体の取り組み	10.1
9	県内各地の文化施設のネットワーク化	8.8
10	その他	1.9
-	無回答	3.4
	計	100.0

Q22：公共施設整備

順位	選択肢	%
1	日常生活でよく利用する道路	45.1
2	公共交通機関（バスや鉄道など）	38.0
3	公園、広場、遊歩道、遊園地など	26.0
4	高度医療施設（総合病院など）	21.5
5	災害対策施設（河川改修や土砂災害対策工事など）	19.1
6	高齢者福祉施設	17.0
7	スポーツ施設（体育館、運動場など）	15.3
8	地域医療施設（診療所など）	13.9
9	駐車場や駐輪場	11.9
10	文化施設（図書館、美術館、博物館、文化ホールなど）	11.2
11	下水道	10.6
12	児童福祉施設（保育所、児童館など）	7.3
13	高等教育機関（大学、短大など）	6.8
14	障害者福祉施設	4.8
15	公営住宅	3.0
16	その他	2.1
-	無回答	2.7
	計	100.0

Q23：山梨県の将来像

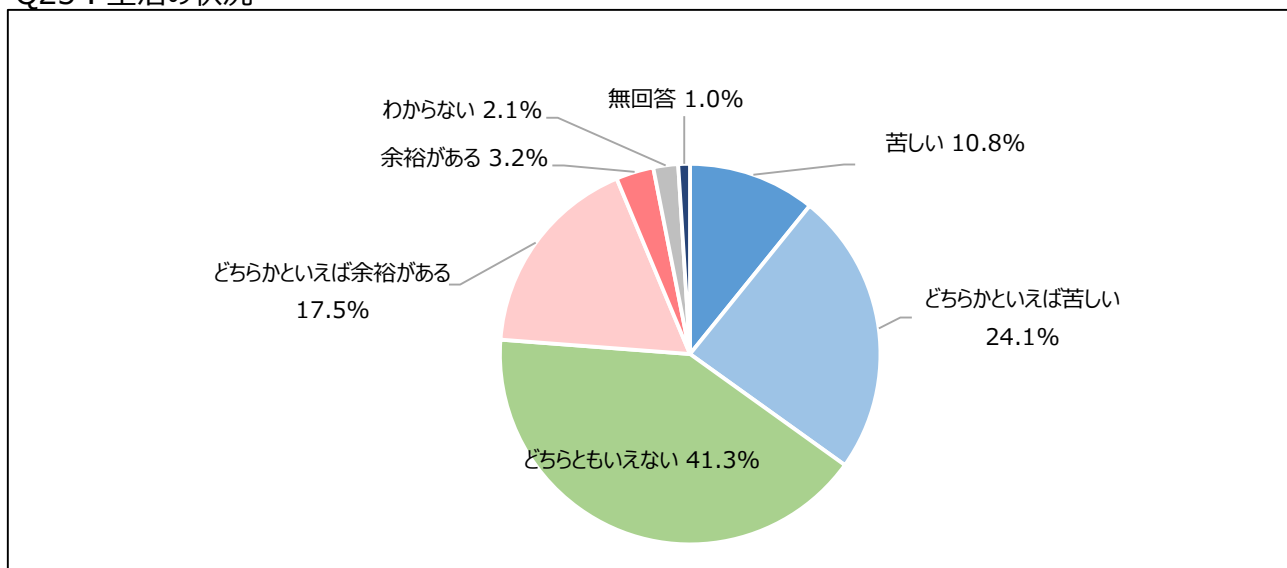
順位	選択肢	%
1	自 然	65.6
2	安 全	40.0
3	快 適	36.3
4	やすらぎ	34.5
5	健 康	23.2
6	伝 統	14.4
7	調 和	13.8
8	開 発	9.9
9	先 進	6.6
10	交 流	5.8
11	田 園	5.4
12	個 性	5.0
13	にぎやか	4.6
14	国 際	3.9
15	洗 練	2.2
16	中 心	0.8
17	その他	1.3
-	無回答	1.3
	計	100.0

【重点項目】

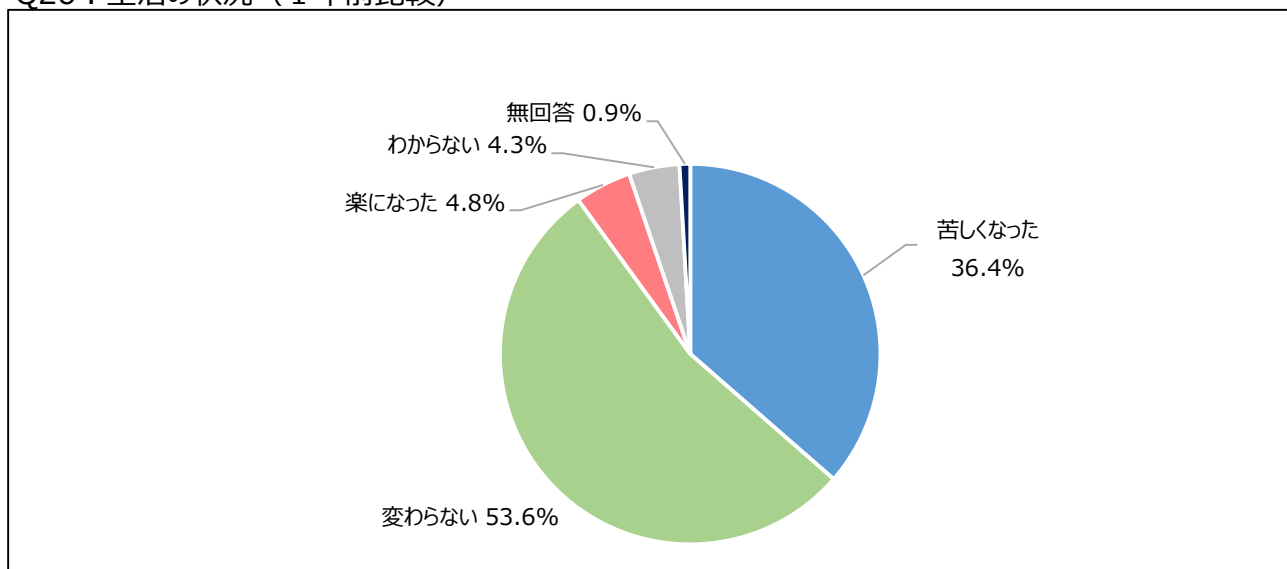
Q24：人口減少問題

順位	選択肢	%
1	安定した雇用の確保	52.5
2	若い世代や子育て世帯が安心して暮らせる良質で安価な住環境の整備	25.9
3	働く人の個々の事情に応じて多様な働き方を選択できる社会の実現	25.6
4	働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上（スリーアップの促進）	25.4
5	若者の社会的自立への支援（キャリア教育の充実、就労支援、奨学金返還支援など）	24.3
6	子どもの可能性を引き出す教育（少人数教育、いじめ・不登校対策、I C T活用環境の整備など）	21.8
7	子育て世代に対する経済的支援	21.1
8	非正規雇用者の正規雇用化	16.3
9	若者のライフプラン（将来の仕事や結婚、子育てなどの人生設計図）形成	15.1
10	性差・社会的役割に対するアンコンシャスバイアス（無意識の偏見や思い込み）の解消により、多様な人々が活躍できる社会の実現	9.7
11	家族の介護等を行うケアラーへの支援	8.8
12	女性の希望に添ったキャリア形成	8.1
13	デジタル化による利便性の享受や、生産性向上による労働環境の改善など、デジタルの恩恵を誰もが受けられる社会の実現	5.8
14	保育サービスの充実と質の向上	5.5
15	男性の主体的な家事・育児参加	4.9
16	その他	2.5
-	無回答	2.1
	計	100.0

Q25：生活の状況



Q26：生活の状況（1年前比較）



Q27：生活困窮_必要だと思うこと

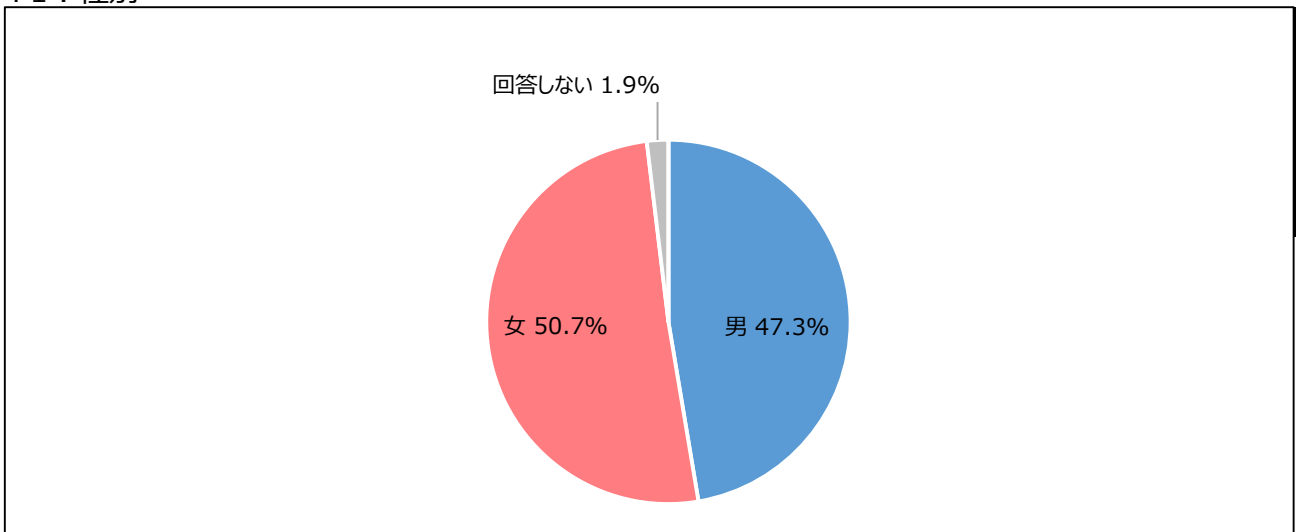
順位	選択肢	%
1	パートタイムを含めた柔軟な雇用機会の拡大	48.8
2	家計改善や経済的自立に向けた生活支援	33.2
3	職業訓練や就職相談などの就労支援	32.5
4	公営住宅などによる住まいの確保	27.4
5	生活保護などセーフティーネットの向上	25.5
6	フードバンクやこども食堂など民間団体による食糧提供の取り組み	25.4
7	学習機会の提供や学用品の支給など子どもへの支援	19.8
8	地域の中で支え合いながら生活することができる場づくり	13.1
9	心理的なサポートやカウンセリングの提供	12.2
10	生活困窮者への理解や協力を深める普及啓発活動	9.6
11	その他	1.9
-	無回答	4.2
	計	100.0

Q28：ケアラー問題

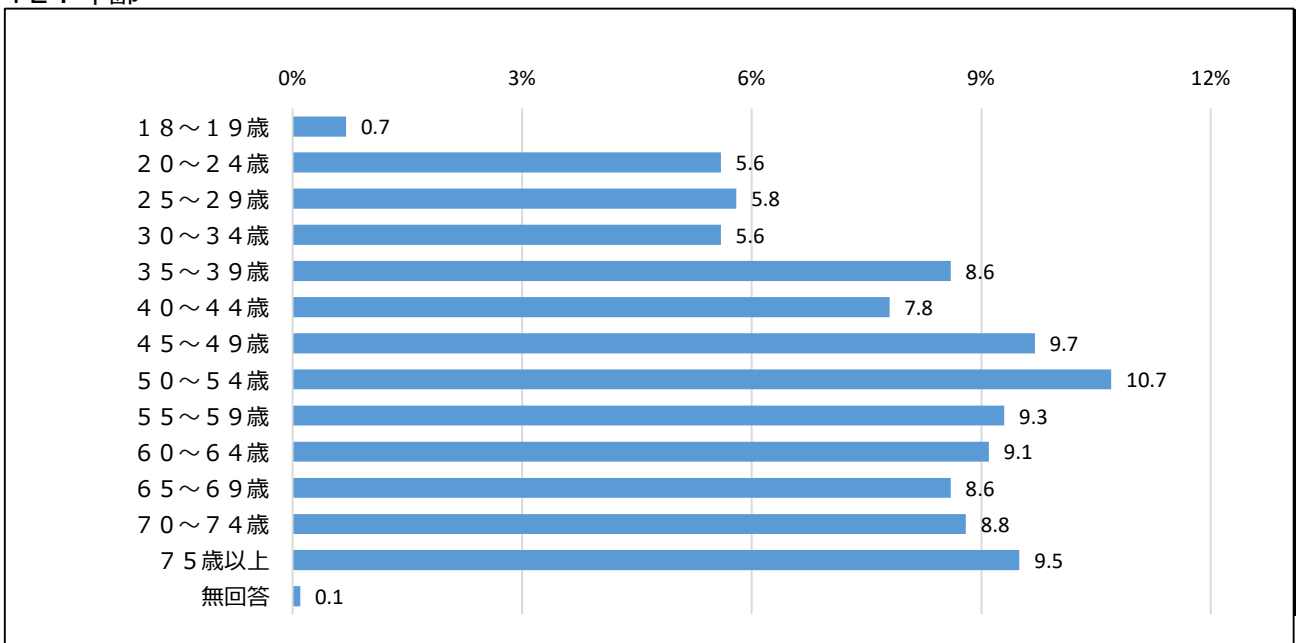
順位	選択肢	%
1	ケアラーが相談できる人や場所の充実	30.9
2	ケアラーに対する経済的支援	28.7
3	ケアラーへの支援機関や支援制度などの情報提供	27.4
4	ケアラーが休める時間がとれるような支援	27.1
5	介護への向き合い方（抱え込まず周りに相談することなど）についての社会全体への普及啓発	24.1
6	ケアラーを支援機関につなげる仕組みの拡充	22.4
7	ケアラー問題の重要性についての社会全体での共通認識の醸成に向けた周知	21.7
8	ケアが突然発生した際に、伴走的に支援してくれる体制の充実	21.4
9	ケアラーを支える関係機関（市町村や地域包括支援センター等）の連携強化	18.9
10	職場や学校等における仕事や学業との両立に向けた支援の充実	14.6
11	職場や学校等におけるケアラーへの理解促進	11.6
12	ケアラー同士が悩みの共有や情報交換等を行うことができる場の充実	10.4
13	その他	1.4
-	無回答	4.7
	計	100.0

【回答者の属性】

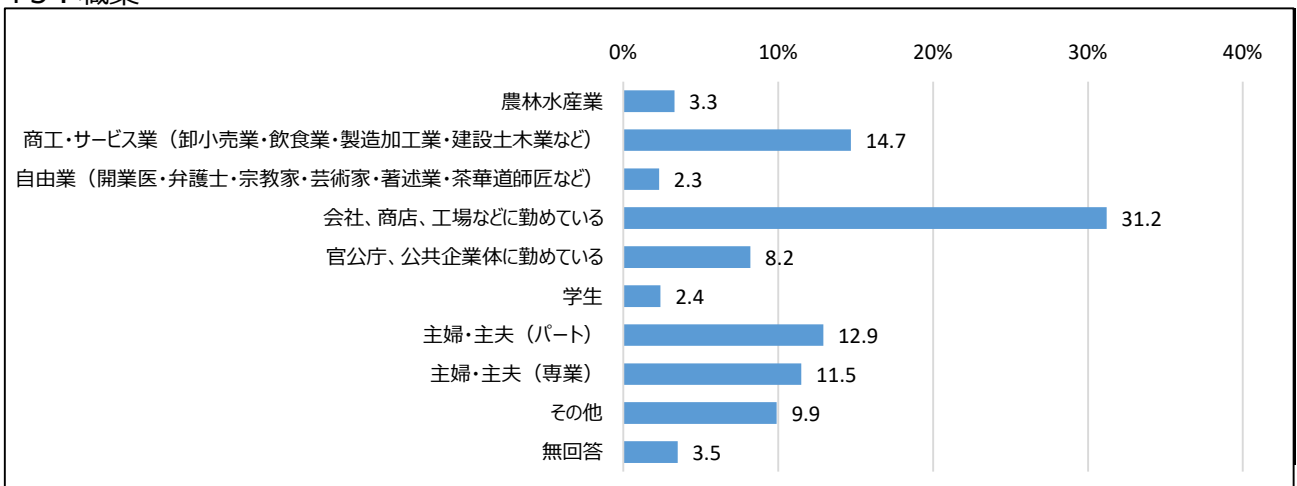
F1：性別



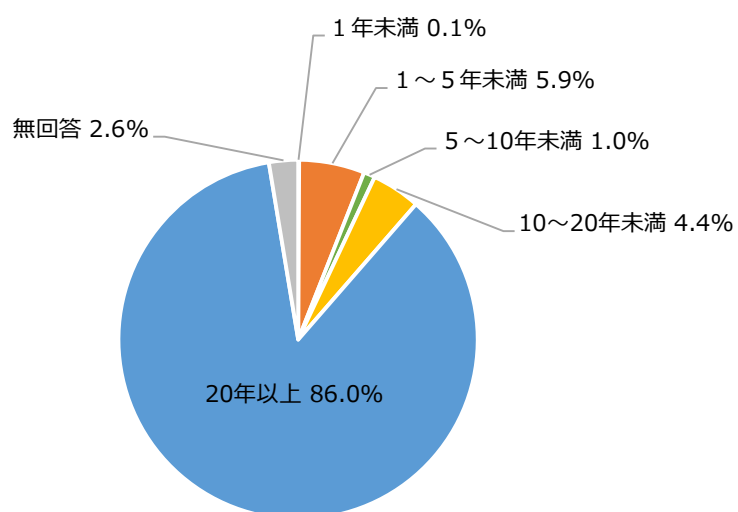
F2：年齢



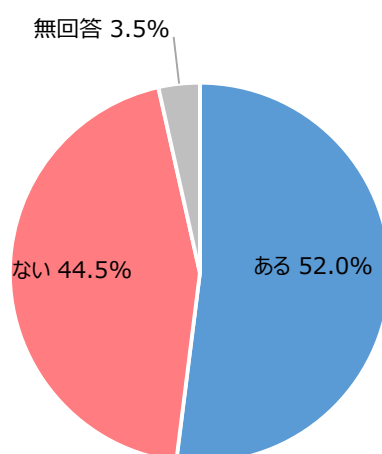
F3：職業



F4：居住年数



F5：県外居住経験



F6-1：世帯構造_同居家族

No.	選択肢	%
1	いない（単独世帯）	6.9
2	配偶者、パートナー	63.5
3	子ども	43.4
4	孫	3.2
5	父母	32.3
6	祖父母	4.1
7	その他	12.0
-	無回答	1.3

F6-2：世帯構造_同居家族（人数内訳）

No.	選択肢	1人	2人	3人	4人以上	無回答
3	子ども	306	239	68	12	3
4	孫	19	17	6	1	3
5	父母	200	258	0	0	10
6	祖父母	51	7	0	0	1
7	その他	129	29	5	4	6

F7-1：世帯構成

No.	選択肢	%
1	小学校入学前の乳幼児	19
2	小学生	23
3	中学生	18
4	高校生	18
5	大学、短大、専門学校生等	11
6	75歳以上の方	48
-	無回答	0

F7-1：世帯構成（人数内訳）

No.	選択肢	1人	2人	3人	4人以上	無回答
1	小学校入学前の乳幼児	92	45	3	0	0
2	小学生	134	35	2	0	0
3	中学生	119	17	0	0	1
4	高校生	121	13	0	0	1
5	大学、短大、専門学校生等	78	6	1	0	0
6	75歳以上の方	295	65	1	0	0

F8：居住地

